

平成23年行政事業レビューシート

(総務省)

<b>事業名</b>	トラヒックの集中回避のためのネットワーク制御に関する実証実験		<b>担当部局庁</b>	総合通信基盤局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成21年度～平成22年度		<b>担当課室</b>	データ通信課		課長 齋藤 晴加		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	V-4 情報通信技術利用環境の整備				
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	総務省設置法第四条第六十六号		<b>関係する計画、通知等</b>					
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	インターネットトラヒックの急増によるネットワークの混雑を緩和し、社会インフラであるインターネットの安定的な利用を可能とする。							
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	近年、インターネット上のトラヒックの急増がネットワークの混雑を引き起こし、通信の遅延やパケット損失等の恐れ(サービスの品質低下)が生じている。この問題を早急に解決し、社会インフラであるインターネットの安定的な利用を可能とするため、ネットワーク内の位置情報(ネットワーク上のPCの所在地情報)の利用や、地域ISPに設置したサーバ上のキャッシュを利用する等の「ネットワーク制御」機能を組み込み、ネットワーク混雑回避に資するソフトウェア開発等に係る実証実験を行う。併せて、平成20年5月に電気通信事業者4団体が共同で「帯域制御の運用基準に関するガイドライン」を発表したことにより、帯域制御の導入を開始する電気通信事業者が増加していることを踏まえ、ネットワークの安定的運用と利用者保護を図る観点から、ISP等の帯域制御の運用に関する実態を調査する。平成22年度は動画ストリーミングデータによるトラヒック増加率の見通し等について調査し、適切な帯域制御のあり方について検討を行う。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	77	77	0	0	
		補正予算	-	0	0	0		
		繰越し等	-	0	0	0		
		計	-	77	77	0	0	
		執行額	-	83	74			
	執行率(%)	-	107.8%	96.1%				
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	インターネットの安定的な利用の確保が目標であり、定量的な成果目標は示すことは困難		成果実績					
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	トラヒックの集中回避のためのネットワーク制御に関する実証実験の進捗度		活動実績(当初見込み)	%		100	100	( ) ( )
<b>単位当たりコスト</b>	18.5(百万円/実証実験・調査研究項目)		算出根拠	執行額=74 実証実験・調査研究項目=4 単位当たりコスト=執行額/実証実験・調査研究項目				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計	0	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札を行い、事業者に対し応募の働きかけを行うことにより、競争性の確保やコスト削減に努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>トラフィック総量の急増と東京への集中がネットワークの混雑を引き起こし、利用者サービスの品質低下(遅延など)を招いており、設備増強によらないトラフィック対策は喫緊の課題である。</p> <p>一般競争入札を行い、事業者に対し応募の働きかけを行うことにより、競争性の確保やコスト削減に努めている。</p> <p>実証実験については、定期的に進捗についてヒアリングを実施し、実証実験の実施体制やスケジュール、報告書作成に当たり指摘、助言等を行っている。</p> <p>調査研究については、中間報告及び進捗についてのヒアリングにより調査内容に関する指摘、助言等を行い、内容の更なる充実を図っている。</p> <p>実証実験の結果を踏まえ、ネットワーク位置情報システムの構築・運用に関するガイドラインを策定し、ネットワークの混雑を緩和する技術の普及に貢献している。また、調査結果については、帯域制御の運用基準に関するガイドラインの改定に向けた基礎資料とするなど、政策の実施に当たり適切に活用している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
22年度をもって事業終了			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
当初の目標を達成し、22年度をもって事業終了。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

総務省  
74百万円

インターネットトラフィックの急増によるネットワークの混雑を緩和し、社会インフラであるインターネットの安定的な利用を可能とするための実証実験及び調査研究を実施

【一般競争入札】  
(応札数:2社)

A.NTTコミュニケーションズ(株)  
72百万円

ネットワークの混雑を緩和し、インターネットの安定的な利用を可能とするためのネットワーク制御に関する実証実験を実施

【一般競争入札】  
(応札数:3社)

B.(株)矢野経済研究所  
1百万円

ネットワークの安定的運用と利用者保護を図る観点から、ISP等の帯域制御の運用に関する実態について調査研究を実施

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

A.NTTコミュニケーションズ(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費等	トラヒックの経路制御に関する実証実験	72			
計		72	計		0
B.(株)矢野経済研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費等	帯域制御の運用実態に関する調査研究	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NTTコミュニケーションズ(株)	ネットワークの混雑を緩和し、インターネットの安定的な利用を可能とするためのネットワーク制御に関する実証実験を実施	72	2	95.9%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)矢野経済研究所	ネットワークの安定的運用と利用者保護を図る観点から、ISP等の帯域制御の運用に関する実態について調査研究を実施	1	3	93.9%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					